



# 資産物品管理システム 比較資料



株式会社コンビベース





- 本書は資産物品管理システムの比較資料です。
- 比較内容についてはホームページやカタログなど一般的に公開されている資料をもとに作成しています。
- 4社の資産物品管理システムを「料金体系」「台帳機能全般」「サポート」「コンサルティングサービス」「アウトソーシングサービス」の項目に分けて比較します。
- 項目は○・△・－の3段階で分けており、分類は以下の通りです。
  - ：標準的に提供できる機能、サービスである
  - △：機能やサービスは存在するが、一部制約がある
  - －：ホームページなどに情報がなく不明

※ 本資料は株式会社ネットレックス調べです。

※ 比較表は2020年9月時点での比較です。



# 比較表 ①

	Convi.BASE (コンビベース)	A社	B社	C社
システムの 特長	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種設定や機能について自由度が高い</li> <li>あらゆる物品の管理や運用に対応可能</li> <li>レスポンスブデザインを採用しており柔軟性の高さを実現</li> <li>在庫数量の管理も実現</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理対象に応じてパッケージ化されたメニューを提供(固定的)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>棚卸し、貸出しが可能</li> <li>分析機能がありグラフでデータの確認が可能</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クラウド上に台帳を持ちPC、モバイル端末のどちらからも情報の登録、編集が可能</li> </ul>
料金体系	基本機能 + オプション + ユーザライセンス数	基本機能 + オプション + 管理点数	不明	ライセンス数 + 追加オプション
管理対象	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>あらゆる物品の管理が可能</li> <li>管理対象に応じてアプリケーションを分けて管理することも可能</li> </ul>	△ <ul style="list-style-type: none"> <li>固定資産、リース資産、IT資産など社内資産の管理に特化</li> </ul>	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>社内資産管理に加えて、他の用途パッケージも提供</li> </ul>	△ <ul style="list-style-type: none"> <li>固定資産、リース資産、IT資産など社内資産の管理に特化</li> </ul>
管理項目の 自由度	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>管理対象に応じて完全自由に設定可能</li> </ul>	△ <ul style="list-style-type: none"> <li>設定に制限あり(必須項目が存在)</li> </ul>	△ <ul style="list-style-type: none"> <li>表示項目の選択、変更、可否設定が可能(必須項目が存在)</li> </ul>	△ <ul style="list-style-type: none"> <li>カスタム項目追加可能(必須項目が存在)</li> </ul>
閲覧機能	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>表示条件や管理項目を指定したビューの作成が可能</li> <li>実質無制限のビューの作成が可能</li> </ul>	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>表示条件を登録し、テンプレート化</li> </ul>	△ <ul style="list-style-type: none"> <li>保管場所、分類別、所属別がツリー表示</li> </ul>	— 不明
権限設定	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>ライセンスごとに閲覧・編集可能な台帳の指定や利用可能な機能を選択可能</li> </ul>	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>データの参照、更新権限などが可能</li> </ul>	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザーに許可する権限に制限あり</li> </ul>	— 不明
対応している 自動認識	○ <ul style="list-style-type: none"> <li>一次元バーコード、QRコード、ICタグ、カメレオンコード、フルスキャンコードに対応</li> </ul>	△ <ul style="list-style-type: none"> <li>一次元バーコード、QRコード、ICタグに対応</li> </ul>	△ <ul style="list-style-type: none"> <li>一次元バーコード、QRコード、ICタグに対応</li> </ul>	— 不明



# 比較表 ②

	Convi.BASE (コンビベース)		A社		B社		C社	
メール配信	○	・配信条件やメール本文の内容も複数かつ自由に設定可能	○	機能あり	○	機能あり	○	機能あり
サポート	○	<b>【初期導入支援】</b> ・管理項目定義 ・ラベルレイアウト ・初期データのインポート調整 ・ビュー定義および調整 ・周辺機器制御用クライアントアプリインストール・設定 ・操作説明  <b>【導入後】</b> ・ヘルプセンターのスタッフが対応 ・Web問い合わせフォーム、メール、電話で対応 ・FAQページ公開中	○	サポート体制あり	○	サポート体制あり	○	サポート体制あり
コンサルティングサービス	○	・専任のスタッフが対応 ・実績100社以上 ・物品管理業務の基本方針から具体的な業務フロー・マニュアルを作成	○	サービスあり ・業務ヒアリング ・利用方法の提案 ・ビューやテンプレートなどの設定 ・運用手順書の作成	—	不明	○	サービスあり ・要件定義 ・環境設定支援 ・データ移行 ・初回棚卸し立ち合い
アウトソーシングサービス (現場支援)	○	・アウトソーシング専門子会社の「株式会社ネットレックス・フィールドサービス」の専任のスタッフが対応 ・累計実績500社以上 ・資産の調査 ・管理ラベル貼付代行 ・棚卸し作業代行 ・日本全国対応可能	△	一部サービスあり	—	不明	—	不明



いかがでしたでしょうか？

今回比較した4社以外にも資産物品管理システムは存在し、全てのシステムにはそれぞれ特徴があります。お客様ごとにやりたいことや改善したい点は異なるため、システム導入にあたっては、自社の導入目的や状況を踏まえて、どのシステムが自社にとって最適なものかを見極める必要があります。本資料が皆様にとって最適な資産物品管理システムの導入にお役立ていただければ幸いです。

最後までお読みいただきありがとうございます。

コンビベースに関するお問い合わせは  
以下からお願いします。

お問い合わせ・オンラインデモの  
申込みはこちら



イベント情報の確認はこちら





お問い合わせ

株式会社コンビベース  
営業部 マーケティンググループ



03-5643-6743



cb-info@convibase.co.jp